

デーリー東北
2020年(令和2年)2月20日(木曜日) (15)

高校、大学生の地域活性化策コンペ



八戸

八戸市は15日、同市開いた。市内外の学生グループが地域を活性化させるアイデアを披の「はっち」で、「学露。審査の結果、階上生&高校生まちづくり町や同市を舞台にアーコンペティション」をトプロジェクトを展開

市長賞に輝いた「つくるはしかみ実行委員会」のメンバー

アート作品展で世代間交流

した、八戸工業大創生デザイン学科皆川研究室「つくるはしかみ実行委員会」が、最高賞の市長賞に輝いた。

市などは、学生らの若い感性を地域活性化に生かそうと、大学生や高校生のまちづくり活動に対する助成金制度を創設。本年度は高校4校と大学生の団体5団体が助成金を受けて活動した。

同実行委は、創生デザイン学科3年の学生25人が昨年7〜12月、同町などで作品展やイベントを実施し、世代間交流を促進させるプロジェクトを展開。

メンバーの南遥香さん(21)は取材に「地域の方々と交流しながら、プロジェクトに取り組んだ点が受賞につながったと思うので、うれしい」と喜びを語った。

(福田駿)

皆川研究室(八工大)市長賞